明すい協だより

第７号
2019. 10. 4

武田高校の皆さん
投票を呼び掛ける澄んだ声が駅構内に
響き渡りました。

街頭啓発開始前、山内会長の
あいさつに聞き入る皆さん

県議選・市議選・参院選の３つの選挙で西条駅街頭啓発を実施しました

平成３１年４月７日執行の広島県議会議員一般選挙、４月２１日執行の東広島市議会議員一般選挙、そして新元号が令和になって初めての選挙である７月２１日執行の参議院議員通常選挙の投票日前々日の金曜日、西条駅で街頭啓発を実施しました。市議選、参院選の際は、呉武田学園武田高等学校の生徒の皆さん、先生方にもご参加いただきました。「めいすい協だより」第１号の表紙は、明推協発足後、初めて西条駅で街頭啓発を行った際の写真でしたが、あれから３年が経過した今でも、先輩方の意思を受けつぎ活動に参加してもらえることを大変喜ばしく感じており、我々の活動を続けていくうえので励みにもなっています。

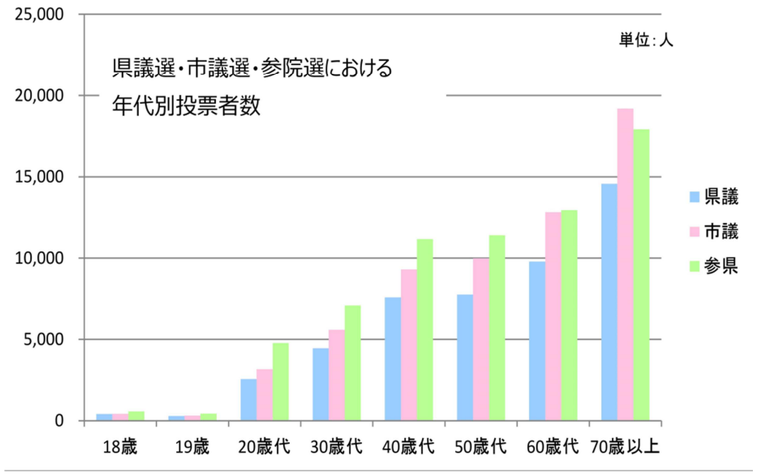
参院選の際は、朝から警報が出ようかという悪天候で、街頭啓発の実施自体危ぶまれましたが、多くの方にご参加いただきました。そのかいもあって、翌日の市役所期日前投票所における投票者数は、前日までの最高である千二百人を大きく上回り、二千人となりました。早朝から参加くださった皆様、いつも街頭啓発の実施に際し、ご配慮くださっているＪＲ西条駅の皆様、ご協力ありがとうございました。

発行　東広島市明るい選挙推進協議会事務局
〒739-8601 広島県東広島市西条栄町８番２９号
TEL 082-420-0968 Fax 082-420-0989
E-mail hgh200968@city.higashihiroshima.lg.jp

選挙別年代別投票率

グラフを見ると県議選、市議選における１０代の投票率にはほとんど差がありませんが、年代を重ねるごとにその差が顕著に表れています。

また、参議院議員選挙と地方選挙を比べると 70 歳以上以外はすべて国政選挙の投票率が高く、選挙に対する関心度の高揚と広報活動の充実の重要性を鑑み、引き続き選挙啓発に平常時から取り組む必要があると考えられます。



各種啓発

東広島市議会議員一般選挙では、市の選挙では初めてオリジナルポスターを作成しました。市議選の２週間前に執行済みの県議選にあやかり、県の選挙啓発キャラクター「投票にコ～イ！めいすいくん」が鯉のヘルメット（兜）を脱いで東広島市オリジナル選挙啓発キャラクターのめいすいくんに出番だよ！頑張って！！」と発破をかけているデザインです。各種施設で目にすることの多かったのは縦バージョンのポスターかと思われますが、コミュニティバス・路線バスには掲示区画の都合から横バージョンのポスターを作成して掲示しました。

県議選のポスターが落ち着いた色調であったのと対照的に、春らしい明るい雰囲気のデザインが好評を博しました。

市役所期日前投票所外観　↓

←バスの車内広告

東広島市明るい選挙推進員随時募集中

皆さんの所属団体で、まだ推進員でない方に、是非声をかけてみていただけますか？

【 街 頭 啓 発 】　市内の駅や大型店舗において、政治参加、投票の呼びかけ
【 研 修 会 】　選挙に関する講演会や研修会へ参加
【きれいな選挙】　地域で啓発活動や、市選管へ選挙啓発に関する提案

編　集　後　記

街頭啓発の際に、明推協の皆さんに着用していただいているスタッフジャンパーですが、２種類あるのをご存知ですか。１つは、平成２８年に作成したもので、めいすいくん３兄妹（上のイラスト）が明るい選挙を呼び掛けているもの、もう１つは我らが「めいすいのん太」が熱唱しているものです。選挙前の街頭啓発が広がりを見せていく中で、いつしかスタッフジャンパーの数も足りなくなり、昨年追加で作成しました。今、この記事を読んでいただいているあなた、スタッフジャンパーを着て一緒に街頭啓発やりませんか。

東広島市明るい選挙推進協議会活動報告

平成３１年１月３０日　明るい選挙推進大会を開催しました！

３つの選挙に先駆け、市明推協発足から３回目となる、明るい選挙推進大会を市民文化センターアザレアホールで開催しました。

広島大学大学院教育学研究科　永田忠道准教授による「日本・広島県・東広島市の主権者教育が目指すもの」と題した講演のほか、パネリストに若年層：広島大学大学院教育学研究科　細野温広様、壮年層：東広島青年会議所　山田章夫様、高年層：青少年育成東広島市民会議　茶木冨夫様、１８歳選挙権連絡協議会　溝口雄介教諭を迎えた各世代の代表によるパネルディスカッション、岡田良二氏と女性会コーラス部「菜の花エコーズ」による「明るい選挙の歌」の披露など充実した内容となりました。

パネルディスカッションの様子

パネルディスカッションは初めての試みということもあり、手探り状態でのスタートでしたが、時間の制約がある中でも、それぞれの年代の共感を呼ぶ意見が交わされたのではないかと思います。多忙な中、講演に引き続き、コーディネーターを務めていただいた永田先生、パネリストとしてご参加いただいた皆様、直前の細かい変更にもご対応くださりありがとうございました。

岡田良二氏と菜の花エコーズの皆さん

大会後半では、もはや東広島市の啓発では欠かすことのできない存在となった「明るい選挙の歌」を披露しました。短い練習期間にも関わらず、完成された美しいハーモニーと素敵な衣装で大会に華を添えていただいた「菜の花エコーズ」の皆さん、ありがとうございました。

当日は浅井県明推協会長、髙垣市長を初め多くの来賓の方々、各市明推協の委員の方など幅広い年代の方にご参加いただきました。この大会で我々の活動を知ってもらうと共に、少しでも選挙に関心を持っていただけたらと思います。

以下は、大会に参加した広島大学教育学部の学生による感想をまとめたものです。

講演を行う永田准教授

推進大会に参加した学生のコメントペーパーより（抜粋）

〇投票に行かない理由について

住民票を異動していないため、投票の方法が煩雑

選挙を通じてまで変えたい問題が周りになく、不自由していない。

〇投票率の向上のためにはどうすればよいか

投票の義務化（罰則を設けること）は主体的な参加とは言えないのではないか。

子どもたちの政治に関する関心の高さを、投票率につなげることができていない。

学校教育で子供たちの意識を変えていくのが最良の方法。

〇推進大会全体について

市明推協の活発な活動について知ることができて嬉しい。

様々な立場の人の意見を聞く良い機会になった。

歌とコーラスが良かった。

選挙に興味のない人は推進大会に参加していない。今日の参加者が周りに繋げていくことが必要。

選挙啓発に関する活動（出前講座）

県立広島高等学校出前講座
（令和元年５月 17 日）

県立西条農業高等学校出前講座
（令和元年９月４日）

毎年５月に他の学校に先駆けて実施する県立広島高校の出前講座では、東広島青年会議所の皆さんに模擬選挙の候補者を務めていただきました。模擬選挙とは言え、選ぶ側、選ばれる側の双方が真剣そのもので、僅差ながら当選を果たした候補者の吉田様は、当選者からの一言を求められ、「昨年の広大のリベンジが果たせました！」と嬉しそうな表情でした。

模擬選挙に引き続き、広島大学大学院教育学研究科　永田准教授のミニ講座が開設され、選管の講義とはまた違った切り口、視点から見た選挙についての講義に生徒たちは興味津々でした。

岡田理事による「明るい選挙の歌の披露もあり、盛りだくさんの講座となりましたが、最後の締めくくりで、公民科担当の先生が、この講座で学んだことを吸収するのみに留まらず、今日、疑問に思ったこと知らなかったことについて自ら調べることで学びを深めるよう促されていたのが印象的でした。

また、９月４日実施の西条農業高等学校出前講座では、４５分という限られた時間ながら、選管職員による講義・２年生全員による模擬投票を行いました。しばらく予定されている選挙はありませんが、生徒たちの講座に対して真摯に取り組む姿勢から、彼らが１８歳になった暁には必ず投票所に足を運んでくれるものと期待しています。

協議会の開催

令和に入って初めて開催された１８歳選挙権連絡協議会では、各学校から統一地方選挙、参議院議員通常選挙の際に、選管から送付された実際の選挙公報を教材として使用し、投票に行くよう促した取り組みや、出前講座内で模擬選挙を行った際「どうしてその候補に投票したか」の振返りをどのように行っているかといったことについて意見が交わされました。

令和元年度第１回
18 歳選挙権連絡協議会
（令和元年８月 22 日）

副会長の交代について

冨吉前副会長

平成２８年の明推協再結成から運営にご尽力いただいた冨吉副会長がこの度、社会福祉協議会会長を退任され、任期を継承する形で後任に髙橋会長が明推協副会長に就任されました。

冨吉副会長におかれましては、３年間の在任期間中、７つの選挙の街頭啓発にご参加いただき、これまでに３度開催した推進大会では締めくくりとなる大会決議を宣言していただきました。

また、新しく副会長に就任された髙橋会長におかれましては、明推協再結成時は選挙管理委員会委員長、委員長退任後は学識経験者として理事に就任いただいた後、この度の副会長就任となりました。立場は違えど、本市の選挙啓発に深く携わっていただいている髙橋会長、これからもご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

また、退任された冨吉副会長におかれましては、ご多忙な中にも関わらず、会発足前の準備段階からの度重なる打ち合わせ、発足後は明推協を牽引する立場、会長を補佐する立場から献身的なご協力をいただきありがとうございました。今後も明推協へのご支援をよろしくお願いいたします。

髙橋副会長